

富士見市防災環境カルテ

勝瀬西町会

位置番号 25

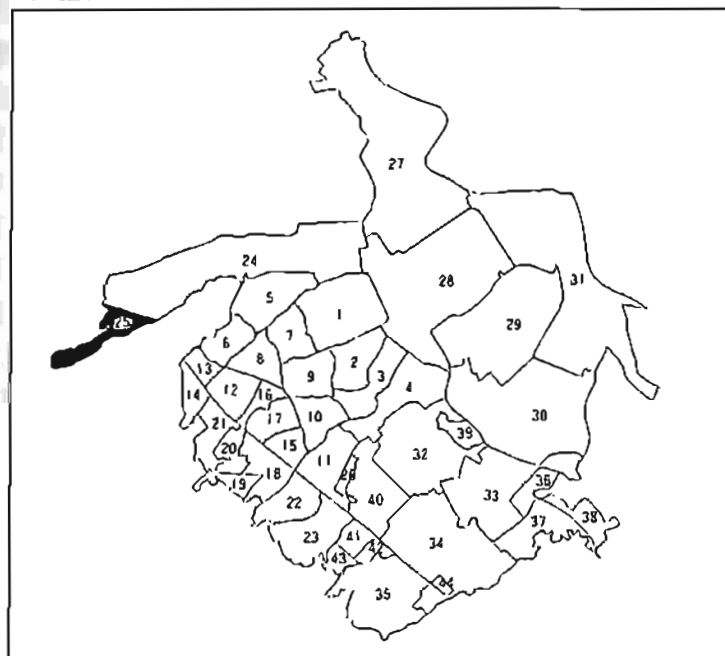
概況

勝瀬西町会は、富士見市の北西部に位置し、町会全体が台地（台地段丘）で形成されている。南側に浸食凹地が見られる。西部、南部、北部は、大井町に隣接し、国道254号（川越街道）を中心として住宅地が密集している。

水害は、過去、台風に伴う大雨により、下水路からの溢水で家屋浸水の内水災害が発生していたが、その後、下水路の改修工事により発生が少なくなっている。

地震災害は、地盤の硬い台地のため無いとみてよい。ただし、消防能力、防火能力は低いとみため、火災が発生した場合は、問題が残る。

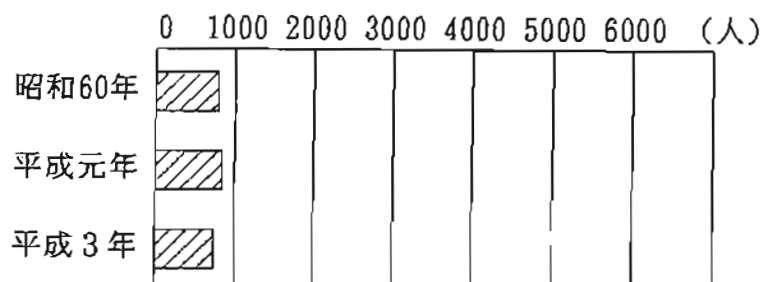
位置図



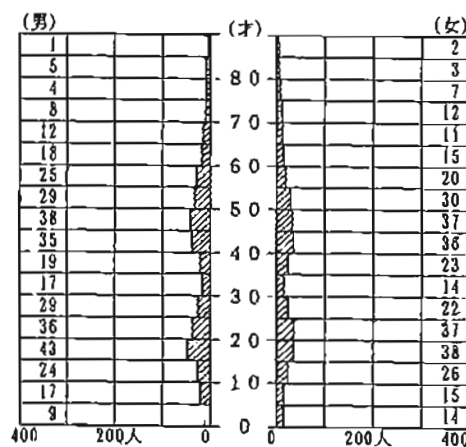
1. 基礎指標

・面積	0.205 km ²
・人口(平成3年10月1日現在)	男 350人 女 332人 計 682人
・人口密度	3,326.8人/km ²
・寝たきり老人数	1人
・ひとり暮らし老人数	1人
・世帯数	204世帯

人口推移

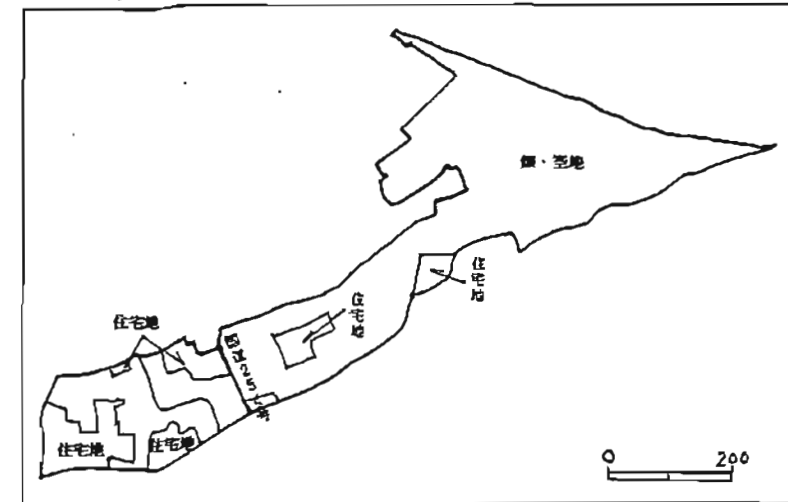


年齢別人口(平成3年)

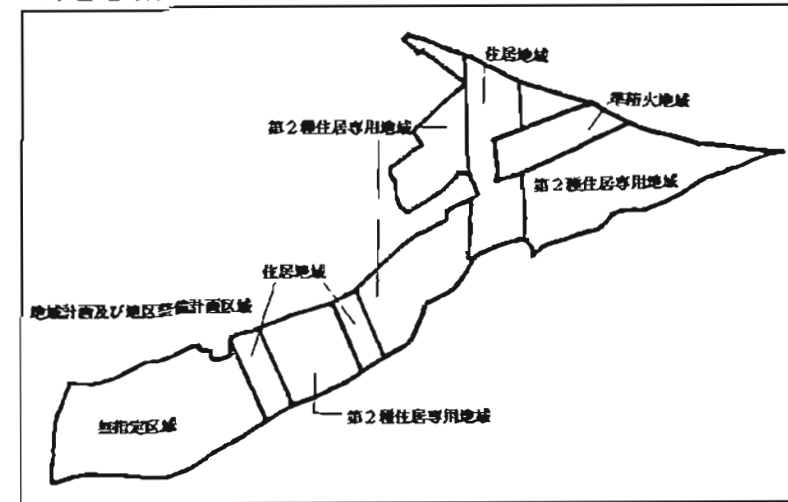


・商住工混在率住居系	90.1%
店舗系	3.2%
工業系	6.7%

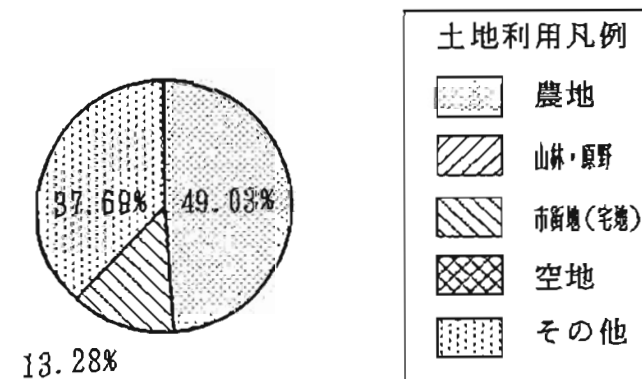
町会現況図



用途地域図



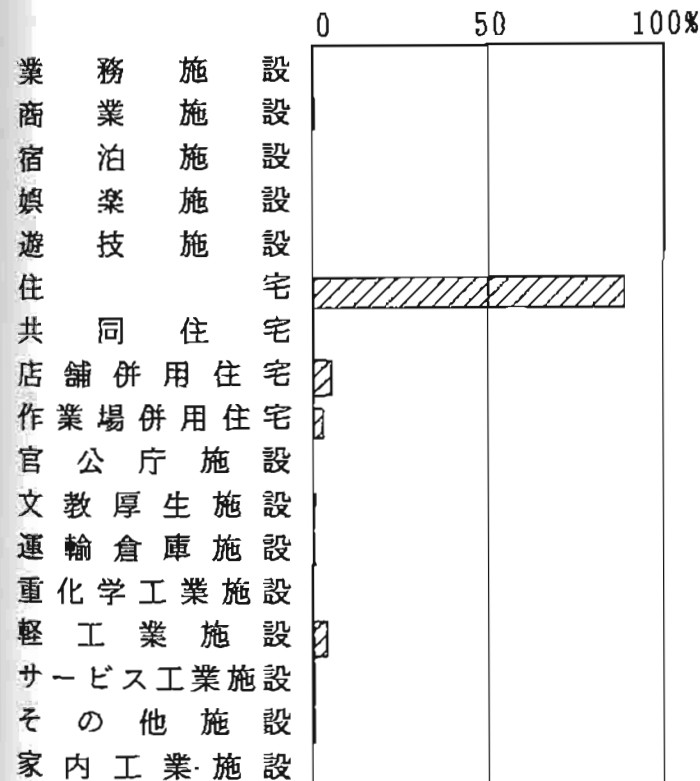
土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	346棟	
・木造建物	328棟	
・非木造建物	18棟	
・建物面積	13,146.34㎡	
・木造建物	10,643.01㎡	
・非木造建物	2,503.33㎡	
※建物面積は1階の面積		
・住宅率	89.3%	
・木造率	94.8% (328棟)	
・昭和34年以前の木造家屋実棟数	6棟	
・同上率	1.8%	
・建物階層別現況 (木造建物)		
1階	90棟	27.4%
2階以上	238棟	72.6%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	58本	282.9本/㎢
・幹線道路率	0本	0本/㎢
・公共空地面積	15,564.0㎡	
・公共空地率	7.6%	
・1人あたり公共空地	5.5㎡/人	
・公共空地内容 (*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 大井町立大井小学校*	15,564.0㎡	
4. 公園	0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合中央消防署大井分署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部	
・消火栓本数	2本	
・1消火栓あたり世帯数	102世帯/本	
・消防水利貯水施設数	0 (0) か所 ()内は容量40トン以上の施設数	
・消防団機械器具置場	0	

5. 危険物指標

・給油取扱所	0か所
・一般取扱所	0か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和58年 7月(大雨)	8棟	0棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害 (年 ~ 年)	0件		
・火災出火件数 (年 ~ 年)	0件		
・1923関東大地震被害			
家屋全壊	0戸		
家屋半壊	0戸		
被害率	0%		

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	0か所	
医 院	1か所	引間歯科医院
休日診療所	0か所	
警 察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

8. 危険度評価

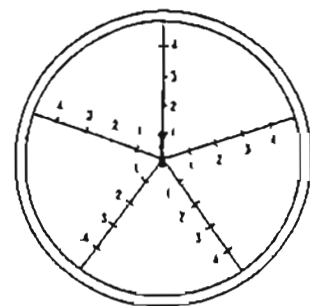
・内水災害危険度	1ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	1ランク
・木造建物被害危険度	0ランク
・木造建物出火危険度	0ランク
・木造建物延焼危険度	0ランク

地盤	地盤の地震動危険度	0ランク
危険度	液化危険度	0ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4

内水災害危険度



液化化危険度

木造建物被害危険度

木造建物延焼危険度

木造建物出火危険度

※ 想定震度 台地5(+) (強震(強))

9. 地盤条件

地盤は、台地で震度5(+) (強震の強い方)、浅い谷で震度6(-) (烈震の弱い方) の地震が予想される。しかし、この地域は地盤が硬いので地盤条件は良い。

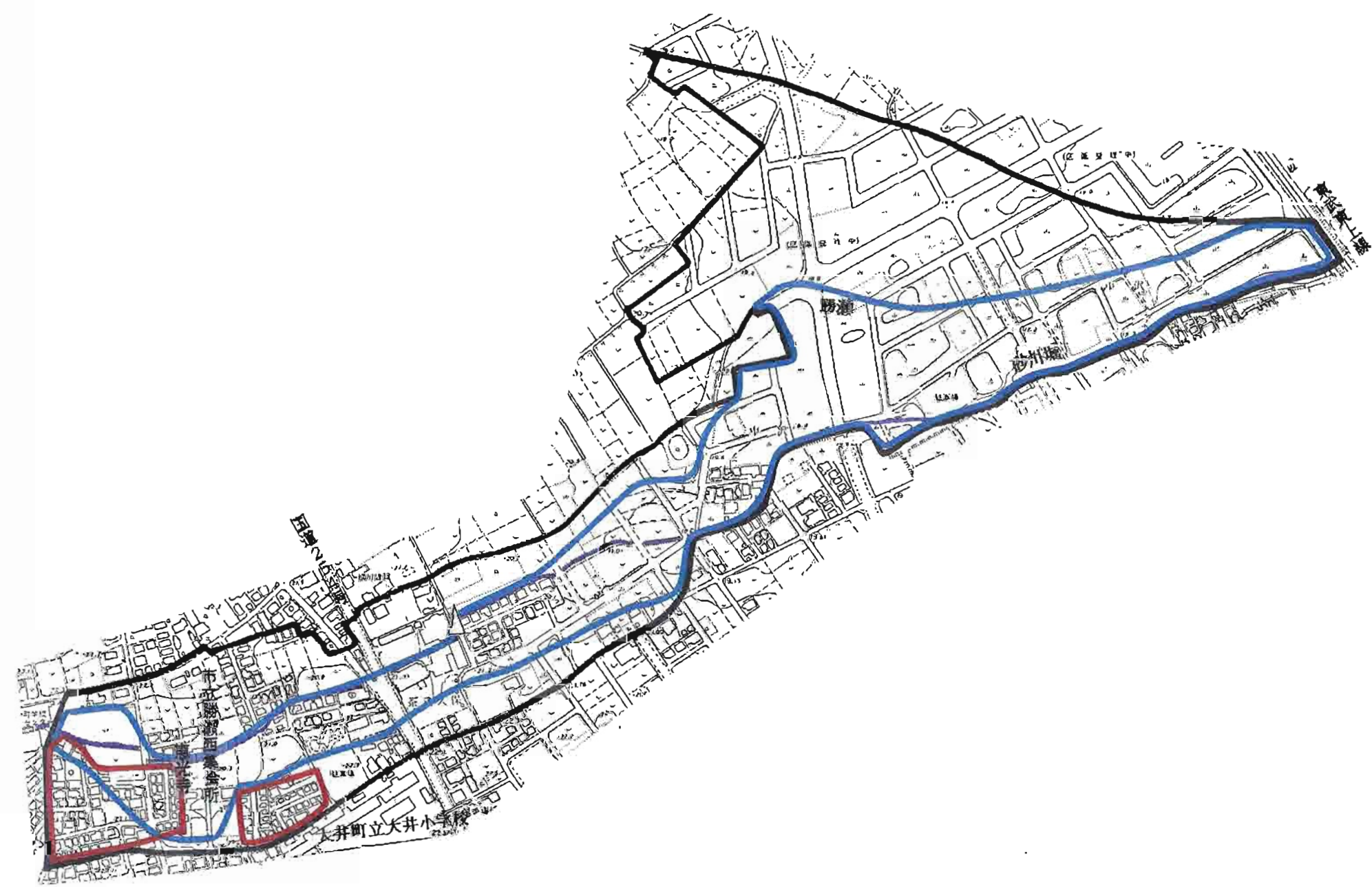
10. 問題点の整理

災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	少ない。	1. 水防能力	水防施設は、設置されていない。
2. 外水災害	無い。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が良いため、木造建物の倒壊の危険性は無いとみてよい。	3. 消防能力	周囲を大井町と接しているため大井町の消防水利を活用する。生活道路が狭いため消防活動に注意を要する。
4. 出火危険	出火の危険性は無いとみてよい。	4. 防火能力	木造家屋密集地域の防火能力は低い。
5. 延焼危険	不燃領域率は、100%と高いため延焼の危険性は無い。	5. 避難収容力	指定避難所は町会内に確保することがむずかしいため、隣接する大井町立大井小学校を共用する。
6. その他の災害	無い。		

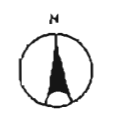
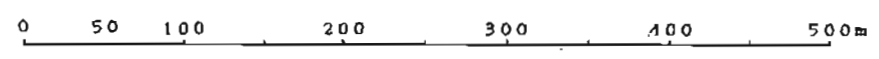
11. 解決の方向性

消防能力は、国道254号(川越街道)で東西に分断されているため、避難誘導や情報伝達などに難かしい面があることから、防災組織の育成をはかる必要がある。生活道路は幅員が狭いため拡幅に努め、また路上駐車等、交通障害要因の排除を行い、緊急車輛の通行、消防防災活動が円滑に行えるようにする。

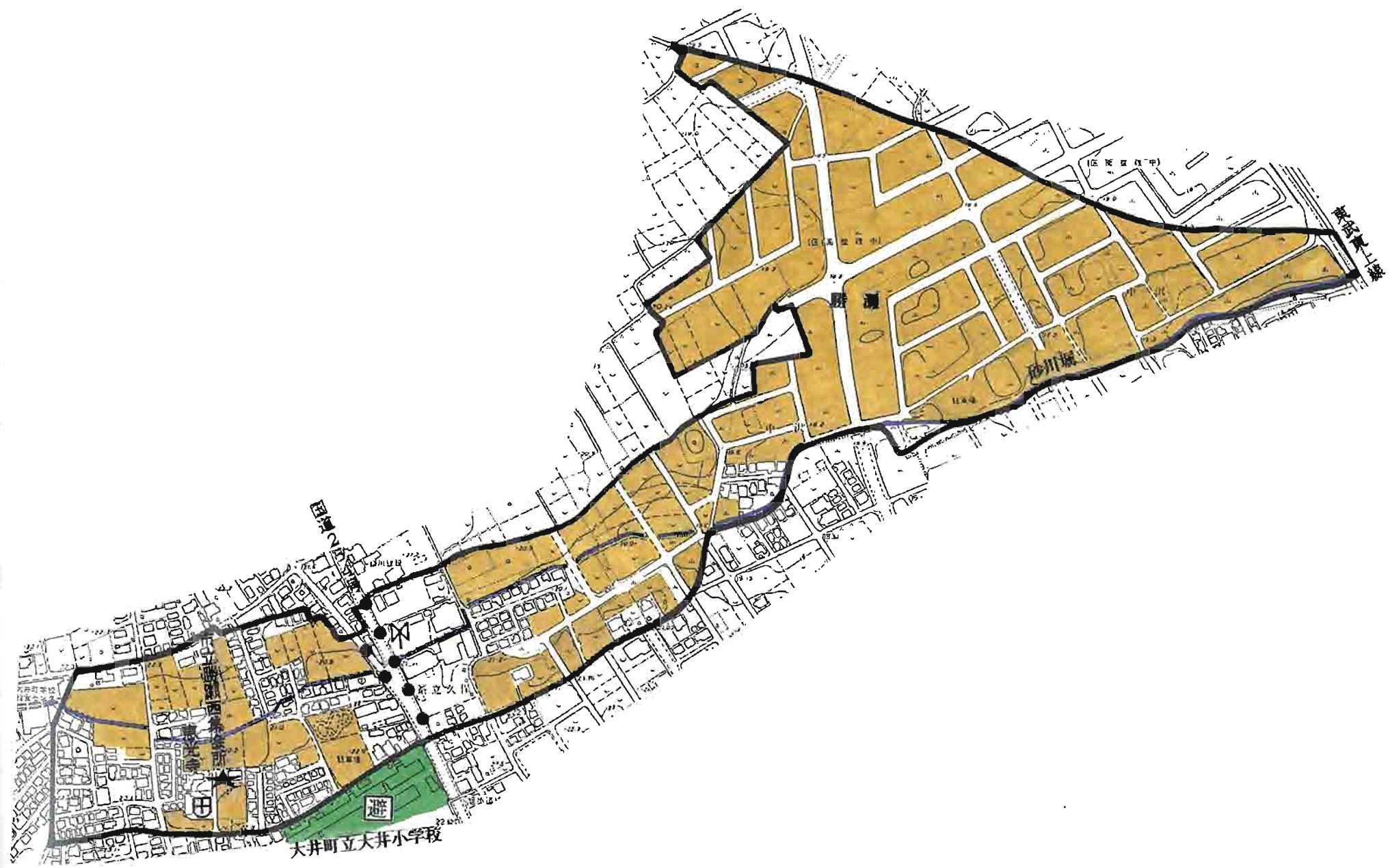
防災現況図A(災害発生要因)



凡 例	
	給油取扱所
	一般取扱所
	危険物屋内タンク貯蔵所
	危険物屋外タンク貯蔵所
	危険物地下タンク貯蔵所
	L P G 充 填 所
	橋 梁
	横断歩道橋
	立体交差
	木造家屋密集地域
	河川・水面
	急傾斜地崩壊危険区域
	盛 土
	浅い谷・低地(谷底平野)
既往浸水域(平成3年台風18号)	
	田の浸水地域
	田の被害区域
	畑の被害区域
	床上浸水地域
	床下浸水地域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水 防 施 設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休 日 診 療 所
	指 定 避 難 所
	公 園
	河 川 ・ 水 面
	避難可能な道路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

0 50 100 200 300 400 500m

